

# 東京藝術大学音楽学部 作曲科 入学試験課題 第二回

- (1) 厳格対位法：与えられた定旋律による3声華麗対位法と混合類各1題を作る。(3時間)
- (2) 与えられたコラール旋律により，バッハ様式で4声コラール1題を作る。(2時間) (計5時間)

## 厳格対位法

(実施時間 3時間)

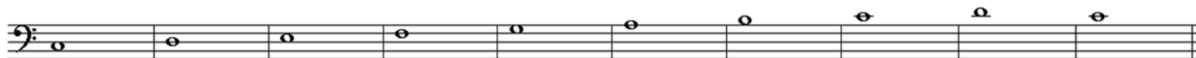
### 【例題】

★転載厳禁

1. 次の定旋律（バス譜表）上に，任意のハ音記号を用いて移勢と4分音符による3声の混合類を作成せよ。

それぞれの対旋律をどの声部に置くかは自由。

尚，定旋律の他声部への置き換えはしない。移調または移旋はおこなわないものとする。



2. 次の定旋律（ソプラノ譜表）を高声部として，3声の華麗対位法を作成せよ。

尚，対旋律は，バス，テノール，アルトのいずれかの音部記号を用いること。

定旋律の他声部への置き換えはしない。移調または移旋はおこなわないものとする。

